

令和5年度 農業委員会 県外視察研修

視察研修を終えて

農業経営後継者対策委員会

委員長 今井 聡



7月6日から7日に福島県いわき市へ視察研修に行ってきた。

初日は、株式会社ワンダーファームでトマトの栽培から加工、販売までの一連の流れを体験できる施設を見学、トマト狩りや収穫した新鮮なトマトを堪能できる人気のスポットでした。翌日はジェイカムアグリ株式会社の小名浜工場を訪問し、化成肥料等の生産過程を見学し、担当者から説明を受け、工場の効率的な運営や肥料の品質管理について学ぶことができました。視察を通じて五泉市農業の更なる向上に役立つ知識と情報を得ることができ、とても有意義な時間となりました。

視察先の施設 について紹介

■視察先1

株式会社ワンダーファーム

(福島県いわき市 四倉町中島字広町1)

トマトの生産・加工・販売・観光が一体化した施設。一年中可能なトマト狩りや栽培したトマトを使用した料理や加工食品が人気。

【視察ポイント】

- ① 周年栽培・供給
- ② 品質・生産量の均一化による安定供給
- ③ 衛生的な栽培が可能



写真：温室トマトの生育状況を見学

■視察先2

ジェイカムアグリ株式会社

小名浜工場

(福島県いわき市 小名浜字高山34)

高度化成肥料や単肥を樹脂でコーティングすることで時間的な肥効調節が可能である被覆肥料等を製造している。同社が製造する「苗箱まかせ」という肥料は、育苗箱に入れるだけで田んぼでの元肥・穂肥が省略できるといふ点の特徴。

【視察ポイント】

- ① 土壌改良材とも併用が可能
- ② 特性・温度により溶出量が変化



写真：製造工場の見学



編集後記

日頃より、農業委員会だよりをご覧いただき、ありがとうございます。さて、世界的な経済の変動により資材や燃料、農業機械等の高騰化、農業者の高齢化、担い手不足により、農家にとっては深刻な状況です。しかしながら安全、安心な作物は我々が作らねばなりません。地域の人々の暮らしのために、みんなで頑張ります。

編集委員 加藤 健一



参加者 集合写真